

OIEとBSE関連の国際 基準について

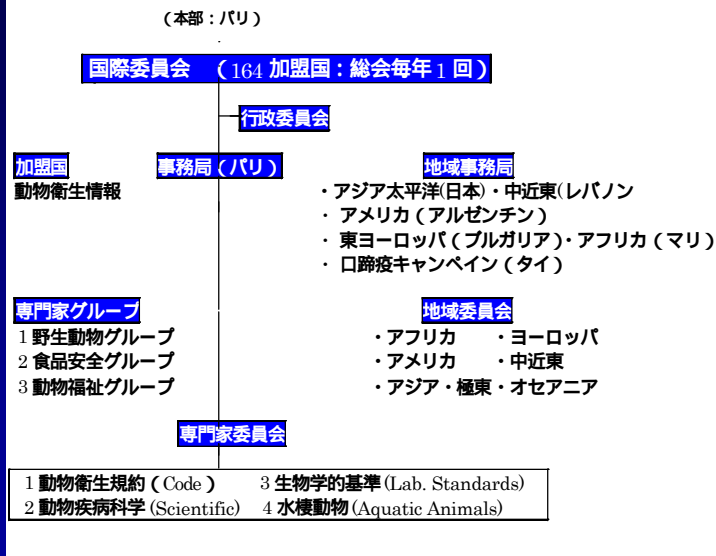
国際獣疫事務局(OIE) 名誉顧問
小澤 義博

国際獣疫事務局 (OIE) とは

- 本部: フランス (パリ)
- 設立: 1924年
- 加盟国: 164カ国
- スタッフ: 事務局 (40人) と専門委員等 (約30人) 及び
地域事務所職員
- 主な活動
 - 1) 動物とその産物の国際貿易に必要な衛生基準作り。
 - 2) 動物の感染症とズーノーシスの情報の収集と伝達。
 - 3) 動物の重要疾病の防疫と監視に関する研究の調和。

日本は1930年に加盟。(1949年以後、総会に出席)
日本代表は農水省、消費安全局の衛生管理課長

図 1 : 国際獣疫事務局 (OIE) の機構図



World Animal Health Report (情報)

Department of Information が担当

[.WeeklyDiseaseInformation](#)

<http://www.oie.int/eng/info/hebdo/A_info.htm>

[Weekly News](#)

<http://www.oie.int/eng/info/hebdo/AIS_02.htm>

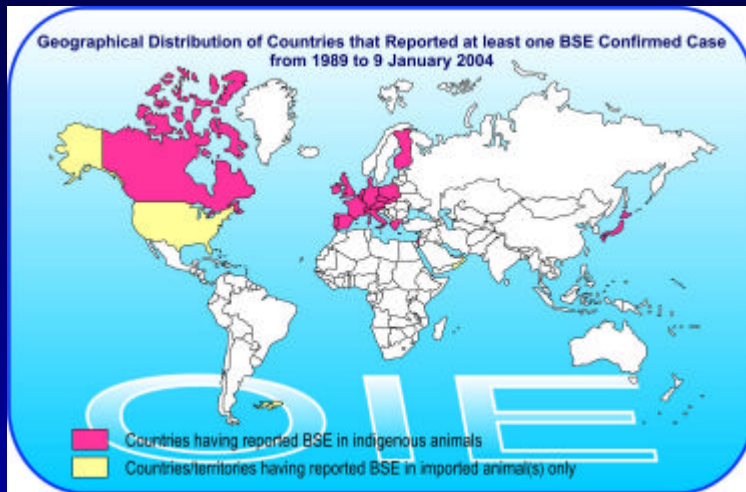
[OIE Year Book \(年報\)](#)

<http://www.oie.int/eng/info/en_bdd.htm>

各疾病に関する総合情報等を出版している

<http://www.oie.int/eng/maladies/en_alpha.htm>

BSEの発生国



OE Manual of Standards

(診断及びワクチン基準)

Technical Department が担当

Standards Commissionが原案を作成

そのレポートが総会で審議・可決される。

Web-site:

http://www.oie.int/eng/normes/mmanual/A_summry.htm

OIE Code: 陸棲動物衛生規約 (水棲動物衛生規約)

Department of Tradeが担当

OIE Terrestrial Animal Health Code Commission
が開かれ,原案が作成される(レポート).

The International Committee(5月の総会)で可決される。

Web-site: http://www.oie.int/eng/normes/Mcode/A_summry.htm

OIEの国際基準(BSE関連)

- 1) BSEステータス評価基準(2.3.13.1-7条)
- 2) 生牛、牛肉等の国際取引基準
 - 生牛の貿易..... (2.3.13.8~13)
 - 牛肉・肉製品..... (2.3.14~17)
 - 肉骨粉..... (2.3.13.18)
 - SRMs.....(2.3.13.19)
 - ゼラチン・コラーゲン..... (2.3.13.20)
 - 獣脂とその製品.....(2.3.13.21~22)
 - 医薬品の安全性.....(2.3.13.23)
- 3) BSEサーベイランスの基準.(3.8.4.1~4)
- 4) BSEリスク評価を行う為の因子 (Appendix XXX1~8)

BSEのステータス評価

	BSE発生状況	肉骨粉等の禁止	サーベランス・届出義務
清浄国	発生なし 発生なし 輸入牛に発生 (処分) 輸入牛に発生 (処分) 国産牛での発生後 > 7年	-- > 8年間禁止 -- > 8年間禁止 > 8年間禁止	> 7年間継続 > 7年間継続 > 7年間継続 > 7年間継続 > 7年間継続
暫定清浄	発生なし 発生なし 輸入牛でのみ発生 (処分) 輸入牛でのみ発生 (処分)	-- > 8年間禁止 - - > 8年間禁止	7年未満継続 7年未満 7年未満 7年未満
最小リスク国	> 7年前に国産牛に発生 > 7年前に国産牛に発生 100万頭当たり1頭 (2頭)	禁止している 8年に達していない > 8年以上禁止	7年未満継続 遵守 > 7年以上継続
中リスク国	2頭以上 200頭迄 (百万頭中)		
高リスク国	200頭以上 (百万頭中)		

OIEの特定危険部位(国際取引禁止部位)

	危険部位
最小リスク国	(1)脳、眼、脊髄、 頭蓋、脊柱 (2)頭蓋や脊柱から回収した肉 (30ヶ月 齢以上)
中リスク国	(1)脳、眼、脊髄、回腸遠位部、 頭蓋、脊柱 6 (2)頭蓋、脊柱から回収した肉 (12ヶ月 齢以上)
高リスク国	(1)脳、眼、脊髄、扁桃、腸、 脊柱、頭蓋 、(胸腺、脾臓、三叉神経節、背根神経節は除かれる) (2)頭蓋、脊柱から回収した肉 (12ヶ月 齢以上)

OIEが安全と考えているもの

- 前記以外の臓器 (牛舌、筋肉、脂肪、心臓、肝臓、肺等)
- 骨抜き肉
- ミルクと乳製品
- 皮から作られたゼラチンとコラーゲン
- 蛋白を含まない獣脂 (不純物0.15%以下)
- 燐酸石灰 (蛋白を含まない)
- 皮革、生皮
- 精液、受精卵

BSEプリオンの不活化方法

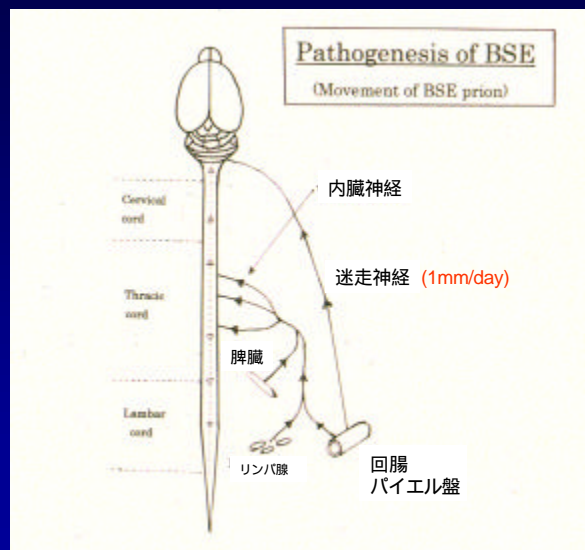
材料を5cm角以下の大きさに切断し、オートクレイブ高圧滅菌で3気圧、133以上で20分以上加熱する。

OIEの国際基準 (Appendix 3.6.3)

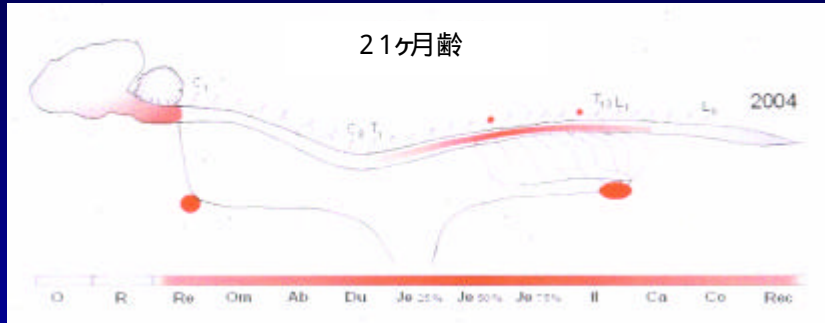
OIEのサーベイランスの基準

30ヶ月齢以上の牛の頭数	必要最小検査頭数
500,000	50
700,000	69
1,000,000	99
2,000,000	195
5,000,000	300
7,000,000	336
10,000,000	367
20,000,000	409
30,000,000	425
40,000,000	433

BSE病理発生機序

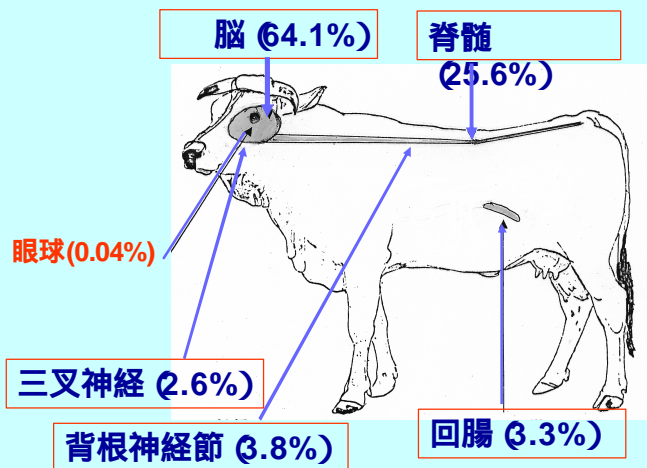


BSEの感染機序



(Dr G.A.H Wellsのデータより)

BSE プリオンの平均的分布



Total: 99.7%